

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (東海)	良くなる	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・夏休みを控え、伊勢志摩サミットの効果も続く。
		乗用車販売店(従業員)	・オークションでの車の成約率が高く、良い価格で売れる車がたくさんある。客の動きが活発になってきている。全体的な雰囲気として、良くなっていくという印象である。
	やや良くなる	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・伊勢志摩サミットが終わり、国内外に地域の情報が発信されたので、夏休みはにぎわうものと期待する。
		スーパー(総務担当)	・お中元商品の販売予約数が、前年より出足が良い。
		スーパー(販売担当)	・夏休みに向けて、子連れ客の購買意欲が高まる。
		コンビニ(エリア担当)	・店舗の設備投資がほぼ完了し、日配食品等の生活必需品の品ぞろえが拡充している。テレビCMによる効果も期待できる。
		コンビニ(エリア担当)	・来客数の回復傾向が好材料である。
		家電量販店(店員)	・ラニーニャ現象の影響で暑い日が長く続くという予報なので、エアコンや冷蔵庫の販売が前年に比べて良くなる。前年が冷夏だったので、今年は良くなるように思われる。
		その他専門店〔雑貨〕 (店長)	・来年の新しい大型商業施設の開業に向けて準備が進み、地区の人口も増える。
		その他専門店〔雑貨〕 (店員)	・夏休みになり、人の動きが増える。
		旅行代理店(経営者)	・参議院選挙が終わり、特に悪い材料もないので、少しは景気も良くなる。
		タクシー運転手	・英国のEU離脱問題や円高、株安等、経済の先行きがわからないので、何ともいえないが、例年8月は、夏場の暑い時期やお盆シーズンで利用者が売上も増え、当業界の景気は良くなる。
		その他サービス〔介護サービス〕(職員)	・障害者の生活介護支援制度を利用する人が増加している。
		住宅販売会社(従業員)	・消費税増税の再延期により、駆け込み需要はなくなったが、今後は低金利のメリットから、購入客が増えると考えられる。
		その他住宅〔室内装飾業〕(経営者)	・夏期休業中に改装工事をしようとしている企業が数件あり、現在、見積りや改装計画に立ち会っている。
	変わらない	商店街(代表者)	・全体的には良くなりつつあるが、世界経済の動きから先行きが見えなくなり、どちらともいえない。
		商店街(代表者)	・リオオリピックを控え、AV商品の動きが良くなると期待していたが全く手ごたえがなく、むしろ悪くなっているよう感じる。梅雨明けのエアコン販売に期待はしているが、良くて前年程度と見込まれる。
		商店街(代表者)	・必要以外の物は買わない状況が続く。自家用の商品が売れない。
		商店街(代表者)	・良くなる要素が見当たらない。
		一般小売店〔結納品〕 (経営者)	・良い要素が全くなく、このままの状態が続く。
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・英国のEU離脱問題で円高となり、不安定な経済状況では消費に金が回らない。
		一般小売店〔薬局〕 (経営者)	・夏のセール期に入り、ボーナスシーズンでもあるので期待は大きいですが、買物客は大都市に行ってしまう。大都市は新しいビルの開業で魅力が高まっているが、当地方には新しい目玉となる物が何もない。
		一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・夏期に向け例年並みの注文量が期待される。
		百貨店(経理担当)	・英国のEU離脱問題で世界的な金融危機や経済減速が懸念される。消費者の心理は、引き続き冷え込んだままで推移する。
		百貨店(販売担当)	・販促企画があるので集客や売上の目途は立つが、大きな好転は見込めない。
		スーパー(経営者)	・景気は、海外からのマイナスの影響で良くならない。円高は続き、輸入品は良いが輸出品はもうからない。英国のEU離脱問題は世界経済の足を引っ張り、長期的に影響を及ぼす。中国等の新興国の経済が良くないため、原油価格は引き続き安値が続く。原価の面ではプラスになるが、デフレ傾向が続く景気回復には貢献しない。9月ごろには夏物商材のバーゲンが本格化し、秋物商材に替わるが、消費者は消極的で売上は伸びない。

スーパー（店長）	・今後大きく好転するような材料が見当たらない。客は、先行きに非常に不安を感じて必要な物しか買わず、非常に難しい。どうしても欲しい物には、多少高くても金を出す、そうでない物にはほとんど手を出さない。
スーパー（店員）	・ここ何か月、販売数量には変わりがなく、良くなる方向にはない。客の購入量は少なく、最低限の買物がずっと続いている。
スーパー（店員）	・今年は例年以上に暑くなるそうなので、その影響がどう出るかによる。飲料やアイスクリームの売上は順調であるが、肉や野菜等の売りに不安がある。
スーパー（企画・経営担当）	・先行きは参議院選挙の結果次第である。
スーパー（販売担当）	・現状からは今後も変わらない。平日には競合対策の販促活動を始め、少しでも良くなればと思っている。
スーパー（人事担当）	・円高傾向ではあるが、過去の例から、急激に一層の円高にならなければ、現状と変わらない。
コンビニ（企画担当）	・大幅に良くなる要因が見当たらないため、現状のような勢いの若干弱い傾向が続くと思われる。
コンビニ（エリア担当）	・足元と変わらない状況が当面は続く。
衣料品専門店（経営者）	・なじみ客の高齢化に伴う健康面が不安である。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・社会全体でみても、今より良くなる要素はないが、これ以上悪くなる要素もないと思われる。英国のEU離脱問題の影響が、実際にどの程度あるかは不安がある。
家電量販店（店員）	・売上の内容は、最小限の買換え需要が多くを占めており、底を打っている。円高と株価の下落が不安要素である。
乗用車販売店（営業担当）	・大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響で、販売台数の落ち込みが続き、回復する材料が見当たらない。
乗用車販売店（経営者）	・取り立てて変わる要素があるようには感じられない。
乗用車販売店（従業員）	・参議院選挙も終わり、リオオリンピックが始まるころには良い状態になると期待しているが、東京都がこのような状態では、オリンピックも白けたムードになり、とても不安定な状況が続く。
乗用車販売店（従業員）	・新車の発表等もなく、増加が期待できる要素はないが、前年並みの販売台数は見込める。
乗用車販売店（従業員）	・しばらくはこのまま低調な状態が続くように感じる。主力客層のファミリー世代が軽自動車に移ってしまい、普通車種が売れにくくなっている。わずかだが団塊世代の最後の買換え需要があるので、いかに取り込むかが重要となる。
乗用車販売店（総務担当）	・暑い夏という予想で、消費は盛り上がりそうだが、英国のEU離脱問題が長引くと、消費者心理への影響が懸念される。
乗用車販売店（経理担当）	・相変わらず消費者は節約志向が強く、将来に備えて出費を抑えるため、急激には変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・英国のEU離脱問題により、買い控える客も出始めている。今後どうなるかは不透明である。
住関連専門店（営業担当）	・客は、本当に必要な物以外は購入を見合わせている。特に、新築住宅・マンションの購入や改修工事については、将来に対する不安で、もう少し様子を見ようという動きがある。ちょっとしたざいという小規模な工事はあるものの、大きな買物については、買い控えがみられる。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・梅雨に入って売上が前年よりも1割ほど落ち込んでいるが、夏休みに向けてイベントを計画し、売上アップを目指す。夏休みはレジャーへの支出が増えるので、あまり期待できないかもしれないという不安もある。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・株価が下がり、宝石への関心がなくなりつつあると実感している。ただし、金製品には動きがあり、先行きも期待が持てる。
高級レストラン（役員）	・夏のボーナス支給後に期待したいが、予約状況には勢いが無い。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・自動車関連業の景気が良くないようなので、売上は現状から変わらないと見込まれる。
一般レストラン（経営者）	・夏の間はイベントが多いため、良い状況が続くと見込まれる。
一般レストラン（従業員）	・参議院選挙の結果にもよるが、一段落してみれば、それほど現状と変わらないと思われる。

観光型ホテル（経営者）	・ 8～10月も団体需要は比較的好調に予約が入っている。県下での新たな話題としては、新東名の区間開通や伊豆地方の新しいつり橋くらいだが、比較的来客数は増えており、レジャー需要は潜在的にあると感じる。	
観光型ホテル（販売担当）	・ 夏のディナーショーには集客の目途が立ち、夏休み期間の企画商品次第ではあるが、前年並み以上を目標としている。当地域は製造業が多いため、英国のEU離脱問題の影響は少なからず出てくると思われるので、一般宴会・宿泊客の動きには注意している。	
都市型ホテル（従業員）	・ 予約数から先行きも変わらないと見込む。	
都市型ホテル（支配人）	・ 為替等の影響で、外国人観光客の動きが読めない。国内出張も同様である。	
都市型ホテル（経理担当）	・ 宿泊・宴会の予約状況は前年同期並みである。	
旅行代理店（経営者）	・ 予約の入り方は、例年よりも悪いようにも感じる。	
旅行代理店（経営者）	・ ターミナル駅前の再開発で一時的には業績が良くなるが、長続きはしない。規制緩和が遅れば遅れるほど、新たな産業やサービスが生まれなくなってしまう。	
旅行代理店（経営者）	・ 英国のEU離脱問題では、我が国の経済への影響を懸念するニュースもあり、輸出関連の客層では、先行きの不安から財布のひもが固くなるような話し話が出ている。	
旅行代理店（従業員）	・ 英国のEU離脱問題で、欧州への渡航者は一段と減る。リオオリンピックは、行政の視察見直し報道の風評被害の恐れもあり、観戦旅行者も少なく、経済効果は今一つである。	
タクシー運転手	・ アベノミクスで格差が広がっている。	
通信会社（企画担当）	・ 大手自動車メーカーの燃費問題の影響も多少あるように思われるが、夜の繁華街は外国人でにぎわっており、当面は今のような状況が続くと思われる。	
通信会社（営業担当）	・ この先半年くらいは、現状のままの状況が続く。	
通信会社（サービス担当）	・ 工事費減額や月額利用料の割引等のキャンペーンが終了するため、新規契約の獲得は難しくなる。より安いサービスへの乗換えも増えてくる。	
通信会社（営業担当）	・ ボーナス時期であっても変化がみられないので、悪い状況のまま変わらない。	
テーマパーク（職員）	・ 足元の景況感のままで変わらずに、夏休みに入りそうな気配である。	
ゴルフ場（企画担当）	・ 入場者数の予約は、前年同日比よりもやや悪くなっている。8～9月は暑い時期なので、それほど入場者数は増えない。このまましばらくは、今とあまり変わりなく、予算的には少し足りない水準での推移が見込まれる。	
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・ 消費税増税の再延期はプラスとなる。英国のEU離脱問題はあるが、国内だけでみれば、引き続き緩やかな回復が見込まれる。	
美容室（経営者）	・ 足元では雨が多かったので客足が鈍く、過去最低の売上が続いている。2～3か月先は真夏に入るが、暑くなってこれ以上客足が悪くなるのは困る。	
美容室（経営者）	・ 客の予定等を聞いても、決まっていなくて多く、先行きもあまり変動はない。	
設計事務所（経営者）	・ 業務の総量にはあまり変化はないが、内容には若干の変化がある。耐震補強や住宅性能評価の依頼が増え、一般的な設計業務が減っている。	
住宅販売会社（従業員）	・ 英国のEU離脱問題も、2～3か月ではそれほどの影響はないと思われる。	
住宅販売会社（従業員）	・ 新築住宅の建築よりもリフォームの物件が多い。不動産の売買は増えてきているという情報があるものの、新築住宅のニーズは少ないと思われる。	
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・ 消費税増税が再延期となったので、客足は遠のいたままである。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・ あまり暑くなると消費は伸びない。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	・ 英国のEU離脱問題で、株安や円高の基調がこれからも続く。景気としては徐々に悪くなる。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・ 最近あまり変わらない状況が続いていたが、英国のEU離脱問題で円高となり、大企業でも輸出関連企業は給与が上がらない。財布のひもは固くなり、一層節約の方向に向かい、贈答品を買わなくなる。
	一般小売店〔惣菜〕（店長）	・ 参議院選挙の影響で、ギフト商品の販売量が落ちる。

百貨店（売場主任）	・高額商品には動きがなく、今ある靴を修理して履く人が増えており、新しい靴を買う客は少ない。売上はだんだん厳しい状況になってきている。インターネットの検索結果から当店を訪ねる客が増えているが、ネットの情報が更新されておらず、取扱のない商品の問い合わせも多い。
百貨店（企画担当）	・中間層の衣料品離れが前年から続いているが、消費税増税の再延期の背景にある国内消費の低迷、英国のEU離脱問題をきっかけとした世界的な株価低迷、急激な円高等により、先行きへの不安から消費マインドは、今以上に冷え込む。
百貨店（経理担当）	・為替相場や株価が不安定なため、消費マインドは低下していく。
百貨店（販売促進担当）	・インパウンドの減少と株価低迷により、景況感の悪化が当分は続くと思込んでいる。
百貨店（販売担当）	・英国のEU離脱問題により、景気の先行きには不透明感が増しており、富裕層の買い控えが進む。中間層等の一般客についても、消費を刺激する要因に乏しく、消費税増税が再延期となっても、購買意欲が減退している状況から、この先も好転するとは考えにくい。
百貨店（計画担当）	・来客数、購入客数共に減っており、富裕層の購入単価も低下してきている。
スーパー（経営者）	・先行きが良くなると見込める理由がない。
スーパー（店長）	・恐らくどこも営業数字が厳しいためと思われるが、近隣の競合店舗では、主力商品の価格設定がかなり低くなっている。自店でも客を奪われるわけにはいかないので、応戦する予定である。
スーパー（販売促進担当）	・英国のEU離脱問題等で、株価や為替等に影響が表れており、国内の景気にも悪い影響を与える。
スーパー（支店長）	・英国のEU離脱問題等、経済の先行きには不透明感があり、企業業績も厳しい状況となりかねない。一般消費者にも少なからず悪影響が広がり、景気回復の鈍化が見込まれる。
スーパー（商品開発担当）	・売上は前年実績を下回ることが多く、来客数も、最も悪かった5月に次ぐ悪さであり、客単価や1品単価も緩やかに下降している。回復する見込みがなく、景気はやや悪くなると考える。
スーパー（営業企画）	・英国のEU離脱問題の影響で為替や株価が不安定となり、特に、輸出産業が中心の当地区では、生活防衛心理が強まる恐れがある。
スーパー（ブロック長）	・英国のEU離脱問題で株価は下がり、円高傾向でもあり、先行きには不安材料が多い。
コンビニ（企画担当）	・リオオリンピックが近づいているが、英国のEU離脱問題はマイナスである。円高を克服して人や物の動きをより活発化させるような話題が欲しい。
コンビニ（店長）	・消費税増税が再延期となり、景気回復が期待されたが、英国のEU離脱問題に伴う円高で、輸出企業の業績低下が懸念される。特に当地域は、自動車産業に頼るところが大きく、消費にも大きく影響すると思われる。
コンビニ（店長）	・高齢者の購買意欲は以前とは変わらないが、子育て世代の客層は、決まった物以外は買わない傾向が、一層強くなっている。
衣料品専門店（販売企画担当）	・商品の製作依頼も減っており、全体的に悪くなっているように思われる。
乗用車販売店（従業員）	・新型車種の投入効果も徐々に薄れ、ハイブリッド車受注の先行具合もそろそろ落ち着いてきている。足元では7～8人乗りの車種の受注が伸びており、ワゴン車の需要をテコに車に関心を持ってもらえればと期待する。
一般レストラン（経営者）	・先行きがあまりに不安定で、生活者は外食等への支出に抵抗感がある。
都市型ホテル（経営者）	・円高に伴うインパウンドの減少を心配している。英国のEU離脱問題もあり、景気は悪くなる。
都市型ホテル（営業担当）	・為替や株式の状況によって、製造業を中心に祝賀会や接待等が、若干縮小傾向になっていくと思われる。
旅行代理店（経営者）	・英国のEU離脱問題は円高に作用し、業界にとってはプラス材料であるが、景気全体には大きな影を落とす。どこまで影響するのかが見えないため、当面は、やや悪くなると見込んでいる。
テーマパーク（職員）	・今後の世界情勢が見えない。
テーマパーク職員（総務担当）	・これから夏にかけては、例年より暑くなる予想であるため、来客数が伸びない可能性がある。
観光名所（案内係）	・この夏は、天候は良くない恐れがあるため、観光客の消費に影響する。

		パチンコ店（経営者）	・客先では、主力機種の撤去等、監督官庁からの制限要請が何度か行われている。
		その他レジャー〔プロスポーツ〕（経営管理担当）	・円高の進行により企業収益が悪化し、広告収入に影響する。
		理美容室（経営者）	・客との話では、ボーナスは出るかどうかもわからないようで、あまり景気は良くない。
		美顔美容室（経営者）	・例年7～8月は、夏休みで来客数が減少する。
		美容室（経営者）	・当地域は人口流出で本当に大変である。若い女性の就職先がなく県内には戻らずに都会で就職するため、どんどん人口が減っている。若年人口が減ることは、経済的にはやはり良くない。
		設計事務所（職員）	・経済情勢も円高基調で、政策的な話題でも、景気が良くなるような話は聞かない。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の再延期、英国のEU離脱問題で、先行きは不透明である。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・時期的な要因で売上はあるが、新規契約の案件は内容が細くなるばかりで、利益は減少している。足元の動きは前年実績を下回っており、景気が良くなっているとは考えられない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・足元の良好な売上も一時的なもので、恐らく好調は長く続かない。2～3か月先には、いつもどおりの水準に戻る見込みである。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・平日の飲食店では来客数が増える材料がなく、店主からは、来客数を増やす方法や他店での取組等についての相談を、行く先々で受けている。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・参議院選挙後には景気対策の実施も見込まれるが、英国のEU離脱問題の影響が大きく、先行きがほとんどわからない不安感から、景気は悪くなる。
		コンビニ（商品開発担当）	・年金や給料の支給日の前は売上が非常に低迷する。セール品の動きは良く、酒類でもアルコール度数の高い割安な商品の動きが良い。商品の選び方や買い方から、客には余裕がないことが伝わってくる。更に英国のEU離脱問題が株価の低迷を招き、一層の消費の冷え込みを招くと見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・世界経済の先行きには不透明感が強まり、実態経済にも悪影響が及ぶことを懸念する。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・円高の影響が懸念され、実際にどの程度で落ち着くかはわからないが、消費マインドには非常にマイナスである。
		一般レストラン（経営者）	・好転する要素が見つからない。
		スナック（経営者）	・株安でますます節約を考えるようになり、景気回復は見込めない。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・世界経済がより一層不安定になれば、国内経済もその影響を免れない。
		理容室（経営者）	・地方では、まだまだ景気が良くなるとは思えない。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客先の生産計画が、上向きになっている。
		輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	・仕事の受注が増えてきている。今後も増えそうなので、やや良くなると見込んでいる。
(東海)	変わらない	食料品製造業（営業担当）	・業況が回復する要因がなく、現状維持が精一杯と感じる。
		食料品製造業（経営企画担当）	・英国のEU離脱問題に伴う円高や株安等、重苦しいニュースばかりが目立ち、先行きは消費マインドの冷え込みが心配される。
		化学工業（営業）	・現状以上に原料の仕入れ価格が下がる見込みがない。
		化学工業（総務秘書）	・英国のEU離脱問題の影響は、まだ市民にまでは広がらない。日本でも格差が広がっているといわれるが、デパートや100円ショップに行くと、客層の違いからそのように感じる。
		金属製品製造業（従業員）	・プロジェクトが動き出すことに期待をしているが、すぐに忙しくなる状況ではないという声が多い。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、生産量共に大きな変動はない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・業種によっては、回復基調にあると感じる客もあるが、全体的には下降傾向が続く。中国向けの輸出等は、若干回復の感もあるが、国内向けは相変わらず低迷が続く、国内の設備等についても今一つである。
		建設業（経営者）	・消費税増税の再延期はプラスであるが、消費者の先行きに対する不信感は根強く、しばらくは様子見が続く。デフレ脱却は容易ではない。

	建設業（営業担当）	・点検業務等を行う上では、下水道の普及で対象施設が減っていくため、業況は悪くなる。会社としては、付帯設備の修理を取り扱っていく方針であり、この先2～3か月では表れないかもしれないが、変化は徐々に出てくる。
	通信会社（法人営業担当）	・英国のEU離脱の正式な決定は9月以降のようだが、先行きは全く見通しが立たない。
	金融業（従業員）	・今のところ大きな動きはなく、客先の生産量等も変わらない。この先も景気の推移は横ばいである。
	広告代理店（制作担当）	・景気が良くなりそうな材料は見つからず、良くて現状維持という状況が、しばらくは続きそうである。
	公認会計士	・英国のEU離脱問題で円高が進み、輸出型企業の業績悪化が予想される。労働者不足による人件費の上昇についても、解決は見込めない。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・為替相場は予想以上に円高となり、この先2か月ほどは不安定な状態が続きそうである。企業としては、引き続き開発を続けていく必要性を感じている。
やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・英国のEU離脱問題を受けて、今後も円高、株安が進み、その影響で景気はやや悪くなる。
	印刷業（営業担当）	・中小企業では、給与が上がらない会社、ボーナスが出ない会社や廃業するところが見受けられる。大手企業と中小企業との差が、かなり出てきている。このまま格差は広がり、中小企業はどんどん減っていく。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・急激な円高により、海外製品の価格が安くなりつつある。値下げによる対応を余儀なくされる可能性が高い。
	鉄鋼業（経営者）	・リオオリンピック等、良い要因もあるが、目先の具体的な仕事としては、地域の中小企業が感じられるような好材料が見当たらない。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・円高になっているが製品の価格を上げることができず、利益を圧迫している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・客先のチェーン店での店舗リニューアルが一段落し、当社製品の出荷が少なくなる。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・今後は円高の影響が顕著に表れてくる。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・英国のEU離脱問題により円高が進行しており、経営に重くのしかかりそうである。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・英国のEU離脱問題が、世界経済に対してマイナスの影響を与える。
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・輸出依存度が高いため、今後円高が更に進めば、大きな影響を受ける。
	輸送業（従業員）	・世界的な不況への懸念があり、国内景気の冷え込みが、更に加速しそうである。物の動きは悪くなる。原油価格の変動による燃料費の増減が、物流業者の業績を左右するが、やや落ち着いていることが救いである。
	輸送業（エリア担当）	・世界情勢が非常に不安定になってきたので、心理的に荷動きが悪くなる。
	輸送業（エリア担当）	・人手の集まりが悪く人件費が増加し、経費の増加が売上の伸びを上回っている。
	通信会社（法人営業担当）	・英国のEU離脱問題は、我が国の経済に直接は影響しないと考えるが、世界的な金融不安の余波が、景気にも影響を与える可能性がある。
	金融業（法人営業担当）	・円高基調が見込まれ、自動車輸出の減少が、国内の自動車部品メーカーの受注減につながることを懸念する。
	金融業（企画担当）	・英国のEU離脱問題の影響で今後の相場が不透明なことから、個人の投資家は様子見となる。含み損を抱えている人も多く、個人の購買意欲が衰えていくように感じる。
	不動産業（経営者）	・今後も売買価格の低下や買い控えが続くと考えられる。
	不動産業（用地仕入）	・英国のEU離脱問題の金融市場への影響が懸念される。
	企業広告制作業（経営者）	・もしEUを離脱する国が続けば、世界情勢はいっせいに保守的傾向を強める。自国主義は経済発展にとってマイナス要因でしかない。為替相場の推移も不透明で、株価も下降傾向にあり、景気の回復を見込むのは難しく、足踏みか、やや悪くなると考えるのが妥当である。アベノミクスは、一貫性に欠け実体が伴わないことがうかがわれる。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・世の中の雰囲気、金を使わない方向に、また戻っているように感じる。
行政書士	・貨物量が少ないため、荷主を探しているとの業者の声を聞く。	
会計事務所（職員）	・東京都知事による政治不信や英国のEU離脱問題に伴う株安や円高が進めば、企業の業績は大きく落ち込み、賃金の減少や一層の消費意欲の減退につながりそうである。	

		会計事務所（社会保険労務士）	・自動車関連業の客先では、ここ2～3か月は売上が減少している。夏の賞与に影響すれば、賞与による消費も減少しそうである。	
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・他に仕事がないために公共案件に参加する会社が増えており、低い単価で落札し始めている。	
悪くなる		出版・印刷・同関連産業（代表）	・消費税増税は再延期になったが、英国のEU離脱問題に伴う円高、株安の影響が当面は続く。消費者の節約志向は一層強まり、結果的に売上も落ち込む。	
		化学工業（人事担当）	・英国のEU離脱問題により、世界的な混乱が当面は続く。円高が長期化すれば企業業績を悪化させ、株安により人々の不安も増し、景気はしばらく低迷すると思われる。	
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、先行きは悪くなると思われる。	
		輸送業（経営者）	・生産財系の物流量が国内、輸出入共に低めという見通しが出たところに英国のEU離脱問題があり、荷主は、世界景気に対して弱気な見方を持つ。一方で、運転手等の現業職員の不足は、更に深刻になっている。	
		輸送業（エリア担当）	・英国を始めとする欧州での動きが、我が国の経済に及ぼす影響を考慮せざるを得ない。国内には景気の低迷、下降要因は見当たらないが、海外での大きな動きが不安要因として国内経済に与える影響もあり、先行きは悪くなる。	
雇用 関連  (東海)	良くなる	-	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・今年度の新卒採用者の教育が一段落し、派遣社員の活用や中途採用の動きが出てくると見込んでいる。下期に向けての採用計画も動き出すものと考ええる。	
		人材派遣会社（支店長）	・求人数の動きが好調な一方で、求職者の確保は難航している。しかし、前年同期比で1割程度の採用数の増加が続いていくと見込んでいる。	
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・製造業や運輸業の採用説明会では、外国人留学生も対象とされてきており、採用数の拡大と企業の積極性を感じる。	
	変わらない		人材派遣会社（社員）	・法人関係の大口予約があり、現状から引き続き、良い状況が続く見込みである。
			アウトソーシング企業（エリア担当）	・英国のEU離脱問題や円高傾向等で、自動車輸出の先行きは不透明である。一部の国内自動車メーカーに対する信頼感が薄れ、受注減につながっている。
			職業安定所（所長）	・業績は、決して高い水準ではないが安定しているという声が聞かれる。改善や上昇という声は、このところ聞かず、今後についても明るい展望を持っているといった情報には接していない。
			職業安定所（職員）	・求人数や求職者の減少が続いている。
			職業安定所（職員）	・足元の動きはしっかりしているが、円高が急速に進み、自動車部品製造業では景況感は悪くなっている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・難易度が高い求人案件ばかりが残る傾向から、今後も変化は特にないと見込んでいる。	
やや悪くなる		人材派遣会社（社員）	・英国のEU離脱問題の影響は今一つ読めないが、大手自動車メーカーの業績が地域経済を左右するので、先行きは少し悪くなると見込む。	
		人材派遣会社（社員）	・企業の要望を満たす人材の不足で採用活動が滞るため、企業の生産性が落ち込む可能性がある。	
		人材派遣会社（営業担当）	・円高局面では、景況感に少なからず不安が生じる。英国のEU離脱問題も絡み、為替が不安定になることで、輸出に関連する製造業では、経費予算を絞り込む可能性があり、様々な業種・業態への悪影響が必至と考える。実際にどれほどの影響があるかは見通しが立たないため、差し当たり、やや悪くなる程度と見込む。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ワンコインランチの時代から更に先に進み、300円弁当の人气が続けば、間違いなく飲食店は減少する。弁当店の行列を目にすると、景気が良くなるとは考えにくい。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・不安定な株価も要因となって、設備投資も少なくなる。	
		職業安定所（職員）	・中国経済の減速や熊本地震の影響があるなかで、英国のEU離脱問題によって、先行きが更に不安定な状況となっている。	
		職業安定所（職員）	・熊本地震と大手自動車メーカーの燃費不正問題が、今後中小企業に影響を及ぼす懸念がある。当所管内にある大手メーカーの処分次第では、雇用調整を行う企業が出てくることも考えられる。	
		民間職業紹介機関（支社長）	・円高が製造業の業績に影響する。	
悪くなる		人材派遣会社（営業担当）	・英国のEU離脱問題により、景気の先行きが読めない。	